

「新日本歩く道紀行100選」認定～こころと祭りの道～

かまくらさんぎょうじゃみち

コース  
NO.20

# 鎌倉山行者道登山コース

最寄駐車場：河内町公民館

播磨国風土記ゆかりの地コース

約8km

健脚向

約3時間40分

(休憩時間を除く)

所要時間の目安

河内町公民館  
スタート

約60分

大天井(鉢尾峰)

約60分

柳峠

約40分

鎌倉山

約60分

河内町公民館  
ゴール

【問合先】

加西市観光案内所

(北条鉄道 北条町駅内)

TEL 0790-42-8823

普光寺

TEL 0790-45-0056

## コースガイド

河内町公民館をスタートし南へ。登山口は町内の細い道に入って行った先にあるが、何力所かに小さいながらも案内標識があるので注意して歩こう。河内町の交差点を左折し、橋を渡った次の交差点を左折し町内へ入り、すぐ右折すると登山口がある。登り初めから鳥居や御堂、石仏などがあり、アップダウンを繰り返す道が続く。小さなシダの生い茂った登山道がしばらく続き、その後、かしの木など自然林の中を進むと不動明王石仏のある展望の開けた場所に出るのでひと休み。これから先は、普賢菩薩・弥勒菩薩・釈迦如来等々の石仏が一定の間隔である。釈迦如来石仏の少し先で普光寺からの登山道と合流する。この合流点から急坂を上げれば眺望がひらけた大天井に到着。急な下りの後、少し上り小天井に着く。しばらく歩くと立派な大日如来石仏がある。その後、自然林の中の緩やかなアップダウンがあり、前方に眺望が開けた大きな岩場(東ののぞき)に到着。東ののぞきを後にして柳峠に向かう。柳峠は、加西市河内と八千代町の境界にあり、ここから普光寺方面へ下っていく近道もある。道標に従い鎌倉山の山頂を目指して登る。孔雀明王像を過ぎると標高約452mの鎌倉山の山頂に到着。山頂からは、眼下の河内町はもちろん東播磨平野を一望することができる。



鎌倉山

山頂を少し下ったところに岩壁に磨崖仏が掘られた岩場(西ののぞき)がある。西ののぞきを過ぎると鎌倉寺がある。その後少し急な坂をジグザグに登り登山口へと下る。町内の道を歩き、ゴールの河内町公民館へ。

## イチオシ 鎌倉山(播磨国風土記ゆかりの地)

高く美しい鎌倉山。大きな磐座があり、近郊一円の水源でもあるため、古くから神体山として賀茂郡(今の加西市・小野市・加東市)の神々の古里と崇敬され、神話や伝説に登場しています。山頂からは、加西市が一望でき、遠くは淡路島まで望む360度のパノラマが楽しめます。



コース荒れ  
通行注意!

スタート  
ゴール



山頂からの眺望



岩壁の磨崖仏

## トピックス

ふこうじ

### 【普光寺】

「播磨六山」の1つに名を連ねた古刹。参道を進むと、享保年間に造立された仁王門があり、このあたりから立ち並ぶ石造物は、延々と本堂まで続きます。



普光寺



登山口